

元年間の所産と考えられるものは認められない。(2)については下端が欠損しているものの、文字自体は完結しているものと考えられる。なお本遺跡は、遊佐町教育委員会によって第三、第四次調査が行なわれ、その重要性から保存されるに至っている。

木簡の釈文については、国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示を得た。

9 関係文献

山形県教育委員会『大楯遺跡第二次発掘調査報告書』(一九八九年)

(伊藤邦弘)

木簡研究 第一四号

巻頭言

一九九一年出土の木簡

八木 充

概要 平城宮跡 平城京左京二条二坊坊間路西側溝 平城京東市跡
推定地 唐招提寺 藤原京跡 飛鳥池遺跡 四糸遺跡 長岡京跡(1)
長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 遠所遺跡 木津川河床遺跡 大坂城跡
住友銅吹所跡 桑津遺跡 竜華寺跡 高槻城跡 堺環濠都市遺跡
屏風遺跡 長田神社境内遺跡 宅原遺跡 袴狭遺跡(1) 袴狭遺跡(2)
(旧坪井遺跡) 光明寺遺跡 西河原森ノ内遺跡 西河原遺跡 湯ノ
部遺跡 石川条里遺跡 内匠日向周地遺跡 小茶円遺跡 富沢遺跡
多賀城跡 円福寺遺跡 田道町遺跡C地点 上荒屋遺跡 山田郷内
遺跡 稲城遺跡 吉野口(鯉山小)遺跡 三門市遺跡 長登銅山跡
空港跡地遺跡(第3工区) 雀居遺跡 興善町遺跡
一九七七年以前出土の木簡(一四)
平城宮跡(第五〇・五一・五二・六三次) 上田部遺跡
郡家今城遺跡 郡家川西遺跡 じょうべのま遺跡 高瀬遺跡
考古資料としての古代木簡 山中 章
八幡林遺跡等新潟県出土の木簡 小林 昌二
木上と片岡 岩本 次郎
下級国司の任用と交通―二条大路木簡を手がかりに― 鈴木 景二
「敦煌漢簡」研究の現状と課題 吉村 昌之
彙報

頒価 四五〇〇円 千六〇〇円